



もみじ新聞



2月



施設長挨拶

2月3日の立春を迎え、暦の上では春(1年の始まり)がスタートしましたが、4日からは北日本から西日本の日本海側では大雪となる予報が発表され、各地で今シーズン一番の寒さになるとの事でした。変わらず空気は乾燥しており、宮崎県感染症週報ではインフルエンザは減少傾向にあるようですが、例年同時期と比較すると増加傾向。コロナウイルスは増減を繰り返しているようで、まだまだ環境に応じた感染対策が必要なようです。ふじ野園でも年末からインフルエンザ、年明けはコロナ感染症が一部のユニットで罹患が確認され、感染対応を強いられました。就業時の感染対策を講じているところではありますが、期間、ご心配をおかけいたしました、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、「節分」と聞くと3日を思い浮かべますが、本来「季節を分ける」という意味があり、それぞれの「季節の始まりの日の前日」を指します。つまり、立春・立夏・立秋・立冬の前日が節分となり、2025年は2日となりました。施設では、赤・青鬼の面、豆など時季の設えがご覧いただけます。

お正月には、お祝いお膳を頂きました。それぞれ意味合いのある食材を口にされ、おいしく頂きました。



絵馬に願い事を込めて書きました！叶いますように...



🌸 宜しくお願いします 🌸



今日もありがとうございます♪感謝でいっぱいです！



行事予定

- ・生け花2/25(火)
- ・BDスイーツ2/26(水)